

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	数学	レポート通数	1 2		
科 目	数学 I	必要面接指導時数／実施時数	4 / 2 4	対 象	全生徒
単位数	4	試験	年度末 1 回		

教科書	新数学 I /新数学 I 解答編（東京書籍）				
学習書等	新数学 I 学習書（NHK 出版）				
その他	なし				

○教科（ 数学 ） の目標

知識及び技能	基本的な概念や原理・法則を理解し、表現や課題解決の技術を身につける。
思考力・判断力・表現力等	論理的に考察する力や、必要な知識と関連させる力、数学的な表現をする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○科目（ 数学 I ） の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現・課題解決の技術を身につける。	方程式や図形、関数などを用いて、論理的に考察する力や、知識を関連させる力、数学的な表現をする力を養う。	数学的活動を通して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
中間課題（夏季）、単位認定試験	電子レポートの取組、中間課題（夏季）、 単位認定試験	電子レポートの取組

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 5 6	数と式	【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解、根号を含む式の計算、方程式や不等式の理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 既習内容と関連づけて因数分解することや、乗法公式や分配法則を適切に活用すること。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 3 2～7 1 学習書 P 8～5 9	第 1 回 第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回	5/13 5/20 6/3 6/17 7/1	前期第 1・2 週 「多項式の計算、乗法公式」 前期第 3・4 週 「因数分解」 前期第 5 週 「実数」 前期第 6・7 週 「1 次方程式、1 次不等式」 前期第 8・9 週 「2 次方程式」	第 2～1 0 回
7 ・ 10	2 次関数	【知識及び技能】 2 次関数とそのグラフの値の変化やグラフの特徴を理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 2 次関数からグラフの特徴を判断し、適切にグラフを描き、利用することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 7 4～1 0 1 学習書 P 6 2～9 4	第 6 回 第 7 回 第 8 回	7/15 10/7 10/21	前期第 10・11 週 「関数のグラフ」 前期第 12 週 「前期のまとめ」 後期第 1 週 「2 次関数のグラフと最大値・最小値」 後期第 2・3 週 「2 次関数のグラフと 2 次不等式」	第 1 1～2 1 回
11	三角比	【知識及び技能】 三角形の性質や三平方の定理、三角比の定義を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 三角比を利用して、図形の構成要素間の関係を表現し、定理や公式として導くことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 1 0 4～1 2 7 学習書 P 9 6～1 2 4	第 9 回 第 10 回 第 11 回	11/4 11/18 12/2	後期第 4・5 週 「鋭角の三角比」 後期第 6・7 週 「三角比の応用」 後期第 8・9 週 「鈍角の三角比」	第 2 2～3 1 回

12	データの分析	【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関図の意味やその用い方を理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。目的に応じて適切な表現をすること。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 1 3 0 ～ 1 4 7 学習書 P 1 2 6 ～ 1 5 3	第 12 回 (前半)	12/16	後期第 10 ・ 11 週 「データの分析・集合と論証」(前半)	第 3 2 ～ 3 8 回
12	集合と論証	【知識及び技能】 集合と命題を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 集合の概念を基に、事象を捉え、表現・処理することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 1 5 0 ～ 1 6 0 学習書 P 1 5 6 ～ 1 7 4	第 12 回 (後半)	12/16	後期第 10 ・ 11 週 「データの分析・集合と論証」(後半) 後期第 12 週 「後期のまとめ」	第 3 9 ～ 4 0 回

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	数学	レポート通数	1 2		
科 目	数学Ⅱ	必要面接指導時数／実施時数	4 / 2 4	対 象	2 年次以降の選択者
単位数	4	試験	年度末 1 回		

教科書	新数学Ⅱ/新数学Ⅱ解答編（東京書籍）
学習書等	新数学Ⅱ 学習書（NHK出版）
その他	なし

○教科（ 数学 ） の目標

知識及び技能	基本的な概念や原理・法則を理解し、表現や課題解決の技術を身につける。
思考力・判断力・表現力等	論理的に考察する力や、必要な知識と関連させる力、数学的な表現をする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度

○科目（ 数学Ⅱ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現・課題解決の技術を身につける。	方程式や図形、関数などを用いて、論理的に考察する力や、知識を関連させる力、数学的な表現をする力を養う。	数学的活動を通して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
中間課題（夏季）、単位認定試験	電子レポートの取組、中間課題（夏季）、 単位認定試験	電子レポートの取組

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4 ・ 5	方程式・式と証明	【知識及び技能】 多項式や分数式の四則計算について理解することができる。数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 式の計算方法を既習事項と関連付け多面的に考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4 ～ 3 1 学習書 P 8 ～ 6 2	第 1 回 第 2 回 第 3 回	5/13 5/20 6/3	前期第 2 週 「式の計算」 前期第 2 ・ 4 週 「2 次方程式」 前期第 5 週 「高次方程式」	第 2 ～ 8 回
6	図形と方程式	【知識及び技能】 2 点間の距離を表すことや円の方程式を求めることができる。簡単な場合において、不等式の表す領域を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素の関係に着目し、方程式を用いて表すことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 3 4 ～ 6 3 学習書 P 6 4 ～ 1 0 7	第 4 回 第 5 回	6/17 7/1	前期第 7 週 「座標と直線」 前期第 8 週 「円の方程式、軌跡と領域」	第 9 ～ 1 6 回
7 ・ 10	三角関数	【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や、相互関係などの基本的な性質を理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 三角関数に関する様々な性質を考察し、適切にグラフを書くことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 6 6 ～ 8 3 学習書 P 1 1 0 ～ 1 4 1	第 6 回 第 7 回	7/15 10/7	前期第 11 週 「三角関数、加法定理」 後期第 1 週 「加法定理」	第 1 7 ～ 2 4 回

10	指数関数と対数関数	【知識及び技能】 指数関数や対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 指数と対数の相互関係を考察し、指数関数及び対数関数をグラフに示すことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 8 6 ～ 1 0 3 学習書 P 1 4 4 ～ 1 8 4	第 8 回 第 9 回	10/21 11/4	後期第 3 週 「指数関数」 後期第 4 週 「対数関数」	第 2 5 ～ 3 1 回
11 ・ 12	微分と積分	【知識及び技能】 平均変化率や微分係数、接線の傾きを求めることができ、グラフの概形を判断することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 増減表を基に 3 次関数のグラフを書き示すことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 1 0 6 ～ 1 3 2 学習書 1 8 8 ～ 2 2 5	第 10 回 第 11 回 第 12 回	11/18 12/2 12/16	後期第 7 ・ 8 週 「微分」 後期第 10 週 「積分」	第 3 2 ～ 4 0 回

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	数学	レポート通数	6		
科 目	数学A（前期）	必要面接指導時数／実施時数	2 / 7	対 象	主に 2 年次以降の選択者
単位数	2	試験	前期末 1 回		

教科書	新数学A/新数学A解答編（東京書籍）
学習書等	新数学A 学習書（NHK出版）
その他	なし

○教科（ 数学 ） の目標

知識及び技能	基本的な概念や原理・法則を理解し、表現や課題解決の技術を身につける。
思考力・判断力・表現力等	論理的に考察する力や、必要な知識と関連させる力、数学的な表現をする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○科目（ 数学A ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
基本的な概念や原理・法則を理解すると共に、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な表現・課題解決の技術を身につける。	図形の構成要素の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力や、知識を関連させ、事象の怒りやすさを判断する力、数学的な表現をする力を養う。	数学的活動を通して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単位認定試験	電子レポートの取組、単位認定試験	電子レポートの取組

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4・5	場合の数と確率	【知識及び技能】 場合の数や確率の基本的な考えを理解し、順列や組合せの総数、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数や確率を求める方法を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4～3 7 学習書 P 8～6 1	第 1 回 第 2 回 第 3 回	5/13 5/20 6/3	第 1 週 「場合の数」 第 4 週 「順列と組合せ」 第 5 週 「確率」	第 2 ～ 1 6 回
6	図形の性質	【知識及び技能】 三角形や円、空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素や基本的な性質から新たな性質を見だし、利用することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4 0～7 5 額数書 P 6 4～1 1 7	第 4 回 第 5 回	6/17 7/1	第 7 週 「直線と角、三角形の性質」 第 9 週 「円の性質、正多面体」	第 1 7 ～ 3 1 回
7	数学と人間の活動	【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 7 8～1 0 8 学習書 P 1 2 0～1 4 6	第 6 回	7/15	第 1 1 週 「数学と人間の活動」 第 1 2 週 「前期のまとめ」	第 3 2 ～ 4 0 回

令和8年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	数学	レポート通数	6		
科 目	数学A（後期）	必要面接指導時数／実施時数	2 / 7	対 象	主に2年次以降の選択者
単位数	2	試験	後期末 1回		

教科書	新数学A/新数学A解答編（東京書籍）
学習書等	新数学A 学習書（NHK出版）
その他	なし

○教科（ 数学 ） の目標

知識及び技能	基本的な概念や原理・法則を理解し、表現や課題解決の技術を身につける。
思考力・判断力・表現力等	論理的に考察する力や、必要な知識と関連させる力、数学的な表現をする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○科目（ 数学A ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
基本的な概念や原理・法則を理解すると共に、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な表現・課題解決の技術を身につける。	図形の構成要素の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力や、知識を関連させ、事象の怒りやすさを判断する力、数学的な表現をする力を養う。	数学的活動を通して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単位認定試験	電子レポートの取組、単位認定試験	電子レポートの取組

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
10	場合の数と確率	【知識及び技能】 場合の数や確率の基本的な考えを理解し、順列や組合せの総数、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数や確率を求める方法を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4～3 7 学習書 P 8～6 1	第1回 第2回 第3回	10/7 10/21 11/4	第1週 「場合の数」 第4週 「順列と組合せ」 第5週 「確率」	第2～1 6回
11	図形の性質	【知識及び技能】 三角形や円、空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素や基本的な性質から新たな性質を見だし、利用することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4 0～7 5 額数書 P 6 4～1 1 7	第4回 第5回	11/18 12/2	第7週 「直線と角、三角形の性質」 第9週 「円の性質、正多面体」	第1 7～3 1回
12	数学と人間の活動	【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 7 8～1 0 8 学習書 P 1 2 0～1 4 6	第6回	12/16	第1 1週 「数学と人間の活動」 第1 2週 「前期のまとめ」	第3 2～4 0回

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	数学	レポート通数	6		
科 目	数学ベーシック	必要面接指導時数／実施時数	2 / 7	対 象	主に 1 年次の選択者
単位数	2	試験	前期末 1 回		

教科書	新数学 I /新数学 I 解答編（東京書籍）
学習書等	新数学 I 学習書（NHK 出版）
その他	なし

○教科（ 数学 ） の目標

知識及び技能	基本的な概念や原理・法則を理解し、表現や課題解決の技術を身につける。
思考力・判断力・表現力等	論理的に考察する力や、必要な知識と関連させる力、数学的な表現をする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数学のよさを認識して学習内容を活用しようとする態度や、粘り強く数学的論拠に用いて判断しようとする態度。

○科目（ 数学ベーシック ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
中学校で学習した基本的な概念や原理・法則の理解を深め、数学 I の基本的な事象の理解につなげる。	既習事項を整理し、論理的に考察する力、数学的な表現をする力の基礎を養う。	数学の良さに気づき、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単位認定試験	電子レポートの取組、単位認定試験	電子レポートの取組

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 ・ 5	数の計算	【知識及び技能】 負の数や小数、分数の四則演算の理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 負の数や小数、分数の四則演算の方法を考察し表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 4～2 9	第 1 回	5/13	第 1 週 「数の計算」	第 1 回
5 ・ 6	数と式	【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解、根号を含む式の計算、方程式や不等式の基礎の理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 既習内容を整理し、因数分解することや、乗法公式や分配法則を適切に活用すること。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 3 2～7 1 学習書 P 8～5 9	第 2 回 第 3 回 第 4 回	5/20 6/3 6/17	第 3 週 「文字と式」 第 5 週 「実数」 第 6 週 「方程式と不等式」	第 5～7 回、 第 11～17 回
6 ・ 7	2 次関数	【知識及び技能】 座標平面や関数の理解を深め、2 次関数とそのグラフの値の変化やグラフの特徴を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 2 次関数からグラフの特徴を判断することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 レポートを締切日までに取り組むことができる。適切な知識や表現を用いてレポートを完成させることができる。	教科書 P 7 4～9 1 学習書 P 6 2～8 6	第 5 回 第 6 回	7/1 7/15	第 9 週 「関数とそのグラフ」 第 10 週 「2 次関数とグラフ」	第 1 8～2 2 回